

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年5月24日（金）

2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第10棟建設予定地

3 確認項目

- (1) 固体廃棄物貯蔵庫第10棟建設工事の進捗状況
- (2) 負傷者が発生した現場の状況

4 確認結果の概要

(1) 固体廃棄物貯蔵庫第10棟建設工事の進捗状況

廃炉作業において発生する瓦礫等の屋外一時保管を解消するため、固体廃棄物貯蔵庫第10棟の建設工事が進められていることから、工事の進捗状況について確認を行った。なお、固体廃棄物貯蔵庫第10棟はA～C棟の3棟により構成されており、A棟6月、B棟9月、C棟2025年3月の竣工予定として作業が進められている。（図1）（前回確認：[令和6年4月11日](#)）

- ・ A棟及びB棟の建屋の建設が完了していた。B棟では、建屋周囲の足場の解体が進められていた。（写真1）
- ・ B棟の建屋内で行われていたコンクリート製遮へい壁の設置が概ね完了していた。（写真2）
また、建屋床面において配筋工事が進められていた。
- ・ C棟建設予定地において、南側から建屋骨組みの設置が進められていた。（写真3）

(2) 負傷者が発生した現場の状況

5月23日に固体廃棄物貯蔵庫第10棟付近において負傷者が発生したことから、発生現場の状況を確認した。

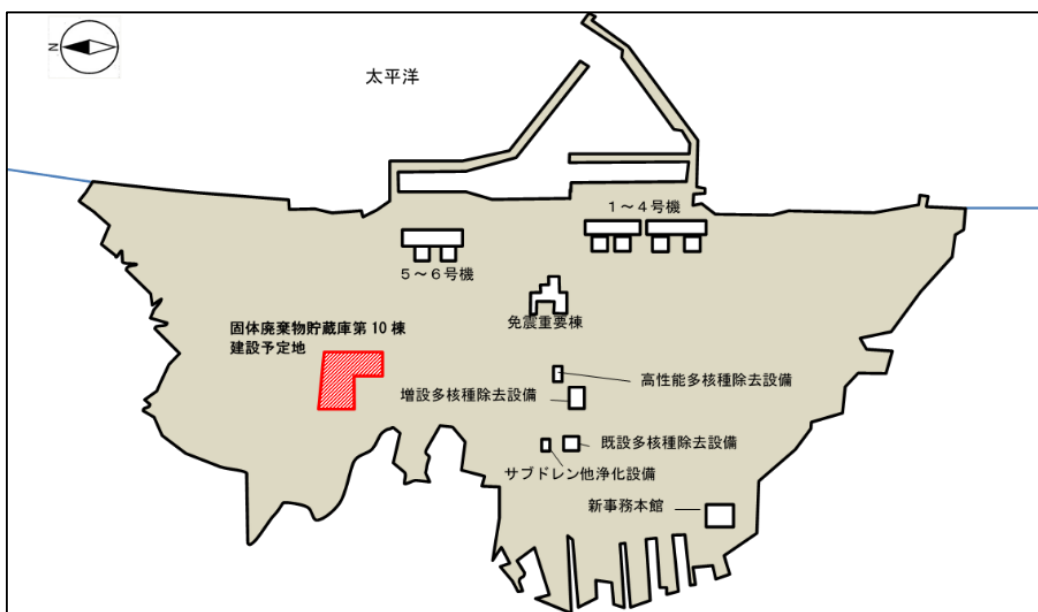
【負傷者発生の状況】

5月23日午前8時45分頃、固体廃棄物貯蔵庫第10棟付近において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前9時20分、救急車を要請。その後、搬送先医療機関の医師の診察の結果、左腸骨臼蓋骨折と診断。

発生状況：生コンクリート供給作業中、ステップ（高さ約1m）から足を踏み外して転倒し負傷。

【発災現場の状況等】

- ・ 固体廃棄物貯蔵庫第10棟のB棟とC棟の建設予定地を確認したところ、生コンクリート供給が関係する作業は行われていなかった。（写真4）
- ・ 東京電力によると、再発防止対策を講じた上で、作業を再開するとのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

固体廃棄物貯蔵庫第10棟（A棟・B棟）建設予定地の状況



(写真2)

固体廃棄物貯蔵庫第10棟（B棟）建屋内におけるコンクリート製遮へい壁の設置作業状況



(写真3)
固体廃棄物貯蔵庫第10棟（C棟）
建設予定地の状況（北側から撮影）



(写真4-1)
固体廃棄物貯蔵庫第10棟（B棟）
土間コンクリートの打設状況
※作業停止中



(写真4-2)
固体廃棄物貯蔵庫第10棟（C棟）
土間コンクリートの打設状況
※作業停止中

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。